

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 子ども会活動振興助成金
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	青少年の健全育成
事務事業番号	006	事務事業コード 52311006 事業開始年度 昭和 6 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	子ども会活動振興助成金
------	------	------------	-------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 子どもたちにさまざまな体験と「生きる力」を身につけてもらうために、登別市子ども会育成連絡協議会を支援する。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 登別市子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、補助金を交付する。 《登別市子ども会育成連絡協議会の主な事業概要》 ・第 3 5 回こいのぼりマラソン大会 ・体験学習 ぱんづくり ・胆子連リーダー交流会 ・第 2 8 回かるた大会 など
成果	<p style="background-color: #ffff00;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 次代を担う子どもたちが様々な体験を通じて「生きる力」を身につける。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	子ども会加入者数	人	目標値	3,500	2,300	2,300	2,300	2,300
			実績値	3,492				
	子ども会事業参加者数	人	目標値	450	450	450	450	450
			実績値	320				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	830	830	830	830	830	2,490
合 計				830	830	830	830	830	2,490
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	299	307			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		299	307			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 子どもたちの健全育成に努める同協議会の支援は必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 子ども会活動の充実や育成者相互の連携強化など、次世代を担う子どもたちに生きる力を育てている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 地域の子ども会などにおいて、事業展開を図ることにより、子どもたちに生きる力を身に付けさせることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 子どもたちの健全育成を図る同協議会の助成金を削減することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	青少年の健全育成は、行政だけではなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援は必要である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）